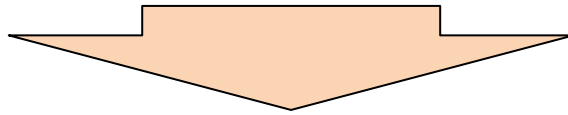


関空・紀淡・四国高速交通インフラの早期実現

●意義・必要性・効果

- ① 東京一極集中を是正し、大規模災害等のリスクを分散する双眼型の国土構造の構築
- ② 関空の機能強化や大阪都心と関空を結ぶ超高速鉄道の整備による西日本の交流活性化と経済活力の向上
- ③ 四国新幹線の整備による、新幹線や高速道路の代替機能の確保、高速鉄道網の多重化
- ④ 現国土軸のリダンダンシーの確保と多軸型の強靱な国土の形成
- ⑤ 大阪湾環状交通体系のミッシングリンクを解消し、多彩な機能が一体的に機能する環状都市の実現と新しい地域連携軸の形成



これらの要となるのが、
『紀淡海峡ルートの実現』

○現状

- ・「紀淡海峡ルート」の実現に向けた調査（H19で打ち切り）
- ・「紀淡連絡道路」は地域高規格道路の候補路線（H6指定）
- ・「四国新幹線（大阪-徳島-高松-松山-大分）」は基本計画（S48告示）
- ・「関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会」設立（H25.9）

具体的な措置

- 1 大阪都心と関空を結ぶ高速交通アクセスの早期整備、紀淡海峡ルート及び四国新幹線の実現のため、四国新幹線を整備計画に格上げし、その中に関空及び紀淡海峡ルートを位置付けること
- 2 紀淡海峡ルートの早期実現につながる調査を再開すること
- 3 地域高規格道路の候補路線である紀淡連絡道路を計画路線に格上げすること

● 関空・紀淡・四国高速交通インフラ



● 西日本におけるリダンダンシーの確保



※西日本は山陽道に機能集中しており、リダンダンシーの確保が必要